

七高SSH通信

R2・2・18
石川県立七尾高等学校
SSH推進室 第17号

北信越地区高等学校 自然科学部研究発表会

2月11日(火・祝)、石川県金沢市の文教会館で「第7回北信越地区高等学校自然科学部研究発表会」が行われました。この会は北陸(石川、富山、新潟、長野)の各県代表の4つの研究が発表されるものです。レベルの高い研究発表も多く、とても参考になる会でした。発表会後には、参加生徒全員でワークショップを行い、交流を深めました。

七尾高校から発表したのは次のグループです。

化学部門 「牛乳とエタノールによる凝固物の生成」

26H 岡本くん、木元くん、高畠くん、堀田くん

生物部門 「マガキ殻の焼成パウダーの殺菌作用について」

26H 久保田くん、酒井さん、多賀くん、水上さん



令和元年度

福井県合同課題研究発表会

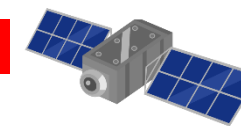
2月11日(火・祝)、福井市地域交流プラザ AOSSA で行われた「令和元年度福井県合同課題研究発表会」が行われました。この会は福井県の高校を中心に福井県外の高校なども加わった発表会です。午前中には、「ふくいサイエンスフェスタ 2019」という行事もあり、2004年に113番元素「ニホニウム」を発見した、九州大学大学院理学研究院 教授 森田 浩介氏の講演もありました。発表は時間の関係で、口頭発表のみでしたが、いろいろな発表を聞くことができ、とても参考になりました。

- ・「ダイラタンシー現象による振動とその周期」
越後さん、長野さん、中山くん、宮本くん
- ・「オカダンゴムシの交替性転向反応」
中島大くん、松本くん、行長くん、横山くん
- ・「レモン汁による牛乳タンパク質の凝集」
多田くん、玉田くん、長尾くん、早見くん
- ・「鏡に対するメダカの反応と行動」
磯辺さん、梶さん、通さん、橋詰さん
- ・「内側にできるミルククラウン」
榎本くん、大目くん、中島涼くん、古谷くん



自然科学研究 I (第1学年理数科)

「リモートセンシング」



リモートセンシングとは、物体を直接測定器などの機器によって調査することとは異なり、物に触らずに離れた場所から調査することをいいます。例えば、天気予報の気象衛星画像などで皆さんが日常よく目にしている技術です。このユニットでは初めにリモートセンシングの基礎(用いる電磁波や人工衛星の基礎知識)の話の後、「ImageSat」によるサーモグラムの画像を利用した探究活動を行いました。サーモグラムによる石川県を中心とした温度地図をもとに、自分で設定した課題について、仮説を立てて、その検証を行い、結論をまとめました。そしてこの活動を PowerPoint のスライドにまとめて発表を行いました。インターネットなども活用して必要なデータを集めるなどの工夫がありました。「高速・有料道路の温度差」、「七尾湾の水温」、「都市部の熱源」など様々な観点からの発表がありました。